

## 6 <sup>けん こう</sup>健康なくらしとまちづくり



毎日たくさん使う水道水

<sup>けん こう</sup>健康に生活するために水とゴミの2つから学習しよう。



<sup>しゅう</sup>ごみ収集車



# (1) ごみはどこへ



## ごみ<sup>しら</sup>調べ

家や学校で1週間にどんなごみが出ているのか、どれだけの量<sup>りょう</sup>のごみが出ているのか調べました。



ごみ調べ

家庭から出たごみを調べてみると、りょう子さんの家では、生ごみ、紙くず、缶、白色トレイ、プラスチック容器、紙製容器、新聞紙が毎日出ていることが分かりました。たかしさんの家では、ペットボトルや段ボール箱も、たくさん出るごみだと分かりました。

お母さんが、「ごみは、もえるごみ、プラスチックごみ、もえないごみ、資源ごみときちんと分別して出す必要があるのよ。」と言いました。そこで、いろいろなごみをどのように始末<sup>まつ</sup>しているのか調べることにしました。

1週間のごみ調べ

★ 家庭で出たごみの種類に、○をつけてみましょう。

	もえるごみ		もえないごみ		しげんごみ								その他 粗大ごみ など	
	生ごみ	紙くず など	金属など	有害ごみ (鏡など)	かん	びん	ペット ボトル	白色 トレイ	プラスチ ック容 器	紙製容 器	牛乳 パック	新聞紙 雑誌類		段ボール
4日(月)	○	○			○			○	○	○				
5日(火)	○	○			○			○	○	○				
6日(水)	○	○			○			○	○	○				
7日(木)	○	○			○			○	○	○				
8日(金)	○	○			○			○	○	○				
9日(土)	○	○			○		○	○	○	○				
10日(日)	○	○			○			○	○	○				

★ 感想(調べてみて、気づいたことや思ったこと)  
 生ごみや紙くずなどは毎日出ているのでよく出るごみだと思いました。  
 有害ごみやびんはてなごみなのでよくでないごみだと分かりました。  
 これからもごみをいろいろ調べて、よく出るごみやよくでないごみはなにを  
 調べていきたいです。



## ごみのゆくえ

砺波市では、ごみ収集日やごみを出す場所、集めるごみの種類が決まっています。

そこで、ごみステーションへ行って見学しました。ごみを出す日が週に2回(地区によっては3回)、曜日と時間が決められていることが分かりました。



ごみステーション



ごみを出すときのやくそく

ごみ収集車が決められた日の決められた時間にごみを収集していることも分かりました。

ごみ収集車で集められたごみは、クリーンセンターとなみに運ばれます。



クリーンセンターとなみ(砺波市太田)



# クリーンセンターとなみを見学しよう

## クリーンセンターの見学

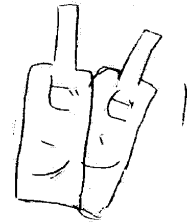
### ☆ クリーンセンターの見学の計画 ☆

名前 \_\_\_\_\_

① 見学に行く日 月 日 ( )

② 見てくること

- ・ごみの流れ方
- ・収集車の順路
- ・それぞれの場所での作業内容



③ 聞いてくること

- ・クリーンセンターで処理しているごみの出た地域
- ・ごみの種類ごとの運ばれる順序
- ・1日に処理するごみの量
- ・働いている人の人数
- ・ごみが燃えて出た灰の行きさき
- ・ごみを燃やす時に気を付けていることや工夫
- ・燃えないごみの処理の仕方
- ・今、困っていること

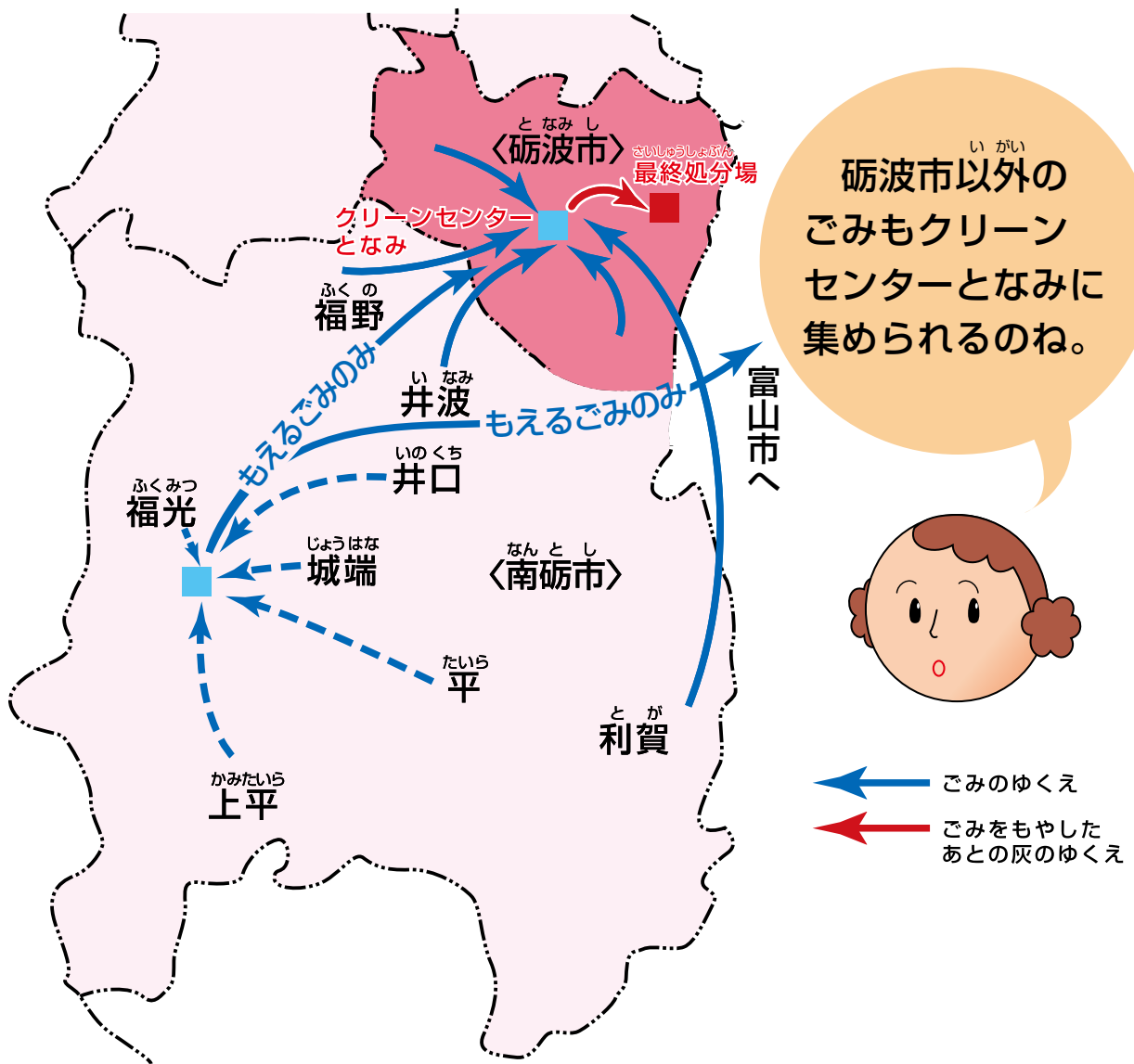


- ★ クリーンセンターではじまにならないよう、静かにする。
- ★ クリーンセンターの人の話をよく聞いて、分からない所は質問する。
- ★ 気付いたことはメモをする。



## クリーンセンターとなみに集まるごみはどこからくるのだろう

砺波広域圏の砺波市、南砺市の福野、井波、利賀で出たごみがクリーンセンターとなみに運ばれています。豊かで住みよいまちづくりを行うために、砺波市は、南砺市と協力して取り組みを進めているのです。



ごみのゆくえ

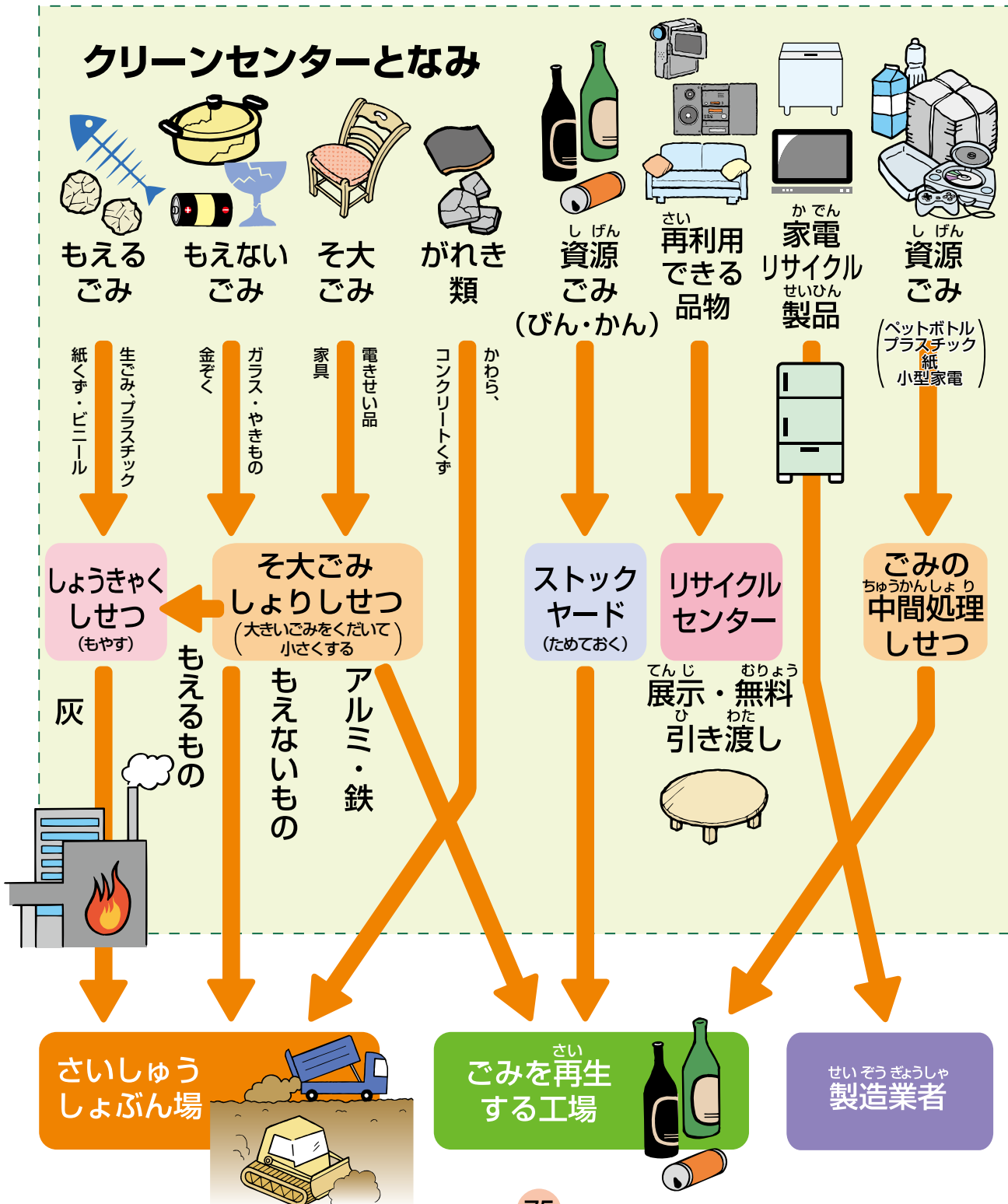


# クリーンセンターでのごみの流れ



クリーンセンターとなみに運ばれてきたごみは分類され、それぞれの処理が行われていました。

## ごみの流れ





## もえるごみのしまつ



ごみピットに入れられたごみは、クレーンでしょうきやくろの入り口に運ばれ高温で燃やされます。ごみの中に金属などの不燃物がまぎれ込んでいると、ろをいためたり、作業が中断してしまったりすることもあるそうです。

ろの中には灰がたまるので、トラックで灰が運び出されていきました。月に1回、ろの中に人が入って、手作業でそうじをする必要があるそうです。この灰は、庄東地区の徳方にある最終処分場に運ばれ、うめ立てられています。



トラックスケール(受付)



ごみピット



ごみピットの中とごみクレーン



しょうきやくろ



## もえないごみや資源ごみのしまつ



もえないごみは、資源として再生する資源ごみと、再生されないごみの2種類に分けられます。

資源ごみは、缶、びんに分別して、それぞれのコーナーに運ばれます。缶はアルミ缶とスチール缶に、びんは透明、茶色、その他の色といった色ごとにきちんと分別して集められ、資源ごみとして再生工場へ運びやすいようになっていました。再生工場では、使える製品につくり直しているそうです。各地区で集めているペットボトル、プラスチックごみ、紙ごみなどの資源ごみも、再生工場へ運ばれています。

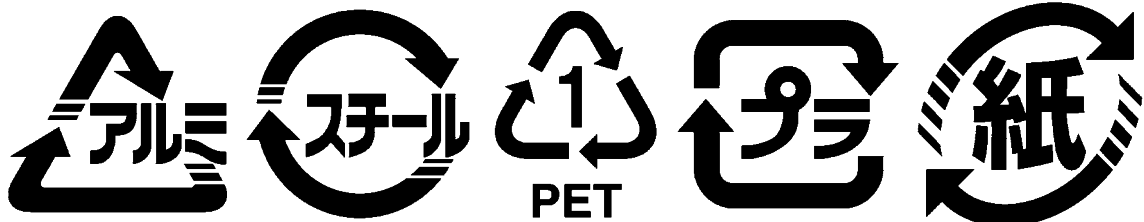


地区ごとの資源回収



資源ごみのストックヤード  
(クリーンセンター)

資源ごみについているマークをたしかめてみよう。







## さいしゅう しょ ぶん 最終処分場

そ大ごみしよりしせつで出たもえないごみやがれき類は、もえるごみをもやした灰と同じように最終処分場に運ばれ、うめ立てられます。

最終処分場は、アスファルトほそうとシートによってしんしゅつ水が流れ出さないようになっています。しんしゅつ水は、雨がふってたまった水、灰やもえないごみやがれき類から出てきた水のことです。このしんしゅつ水は有害なため、しよりしせつでしよりし、安全な水にしてから放流されます。

### ■ごみのうめたて地がなくなる?!

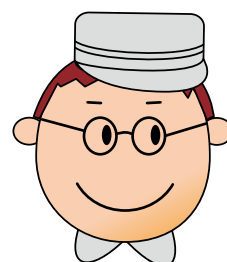


しよりしたごみを埋め立てるさいしゅうしょぶん場



しんしゅつ水しよりしせつ

このままごみを出すと2025年には今の最終処分場がうまって使えなくなり、南砺市に作っている最終処分場に持っていくことになるそうです。もっとごみの量を少なくすると長く使えます。ごみが処理できないほど多いと、処分する場所がなくなったり、お金がたくさんかかるようになりそうです。





## リサイクルセンター



クリーンセンターのおくに、細長い平屋の建物がありました。ここでは、ごみとして持ち込まれた自転車や家具がたくさん置いてありました。少し修理すればまだ使える物がたくさんあるそうです。

少しでもごみを減らす工夫をしたり、物を大事にして使おうとしたりすることは、地球の環境にとってとても大切なことだと思いました。ここで修理され、製品としてよみがえった自転車や家具などは、ふたたび生活の中でかつやくするそうです。



リサイクルセンター



リサイクルされたもの



## 自分たちでもやってみよう



こわれたものでも  
しゅう理してまた使う。



他の人にあげて、また  
使ってもらおう。



エコマーク  
しげんやエネルギーを  
大切にずる商品につい  
ています。



グリーンマーク  
さい生活をばった、ノートや  
トイレッペーパーなど  
についでいます。

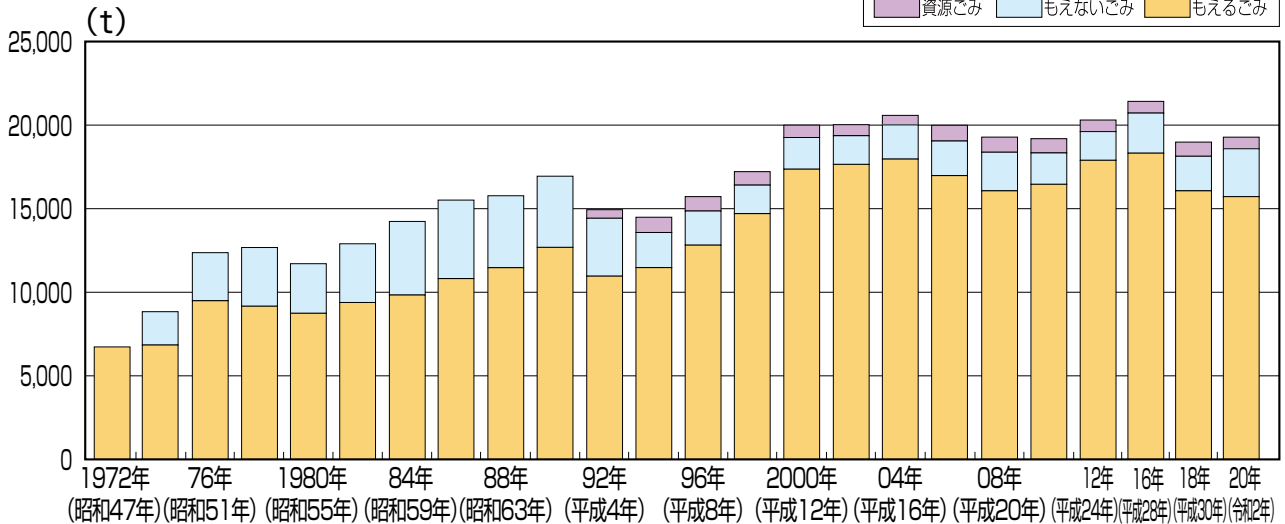
エコマークやグリーン  
マークの入った、リサイクル  
されたものを使う。



## ごみしよりのうつりかわり

あすかさんは、ごみの<sup>りょう</sup>量やごみしよりのうつりかわりについても聞いてみました。

### クリーンセンターとなみでしょ理したごみの量



### 砺波市やまわりの地区のごみしよ理のうつりかわり

年	ごみしよ理のうつりかわり
1970年 (昭和45年)まで	自分の家の庭や空き地でもやし ながらごみしよ理をしていた
1971年 (昭和46年)	「清そうセンター」を作り、砺 波市・福野地区・井波地区のも えるごみをもやすようになった。
1972年 (昭和47年)	庄川地区のもえるごみも「清 そうセンター」でもやすよう になった。
1973年 (昭和48年)	「清そうセンター」でもやすよう になった。
1991年 (平成3年)	「クリーンセンターとなみ」が 作られ、最新式のせつびでもえ るごみをもやすようになった。
1992年 (平成4年)	ごみぶくろを有料化した。しげ んごみ「スチール・アルミ・ビ ン」の分別回収を始めた。
1993年 (平成5年)	利賀地区のもえるごみも「ク リーンセンターとなみ」でも やすようになった。
1996年 (平成8年)	「クリーンセンターとなみ」 にねんそだごみしよりしせ つができた。
1998年 (平成10年)	しげんごみ「ペットボトル」 の分別回収を始めた
2001年 (平成13年)	最終しよ分場(はいなどのうめ立 て地)ができた。しげんごみ「白 色トレイ」の分別回収を始めた
2005年 (平成17年)	砺波市でしげんごみ「紙・プ ラスチック」の分別回収を始 めた。
2006年 (平成18年)	福野地区・井波地区・利賀地区 でもしげんごみ「紙・プラス チック」の分別回収を始めた。
2010年 (平成22年)	砺波市5月より小型家電分別 収集開始。
2017年 (平成29年)	砺波市もえないごみと資源ご みの同日回収を始めた。

### クリーンセンターの方の話



クリーンセンターの方

生活が豊かになり、ごみは年々ふえてきました。しかし、ごみを少なくすることを心がけていればごみはへっていきます。キーワードは「もったいない」という心です。「ごみの分別」を守りましょう。ごみがへれば、地球の資源を守り続けることができます。